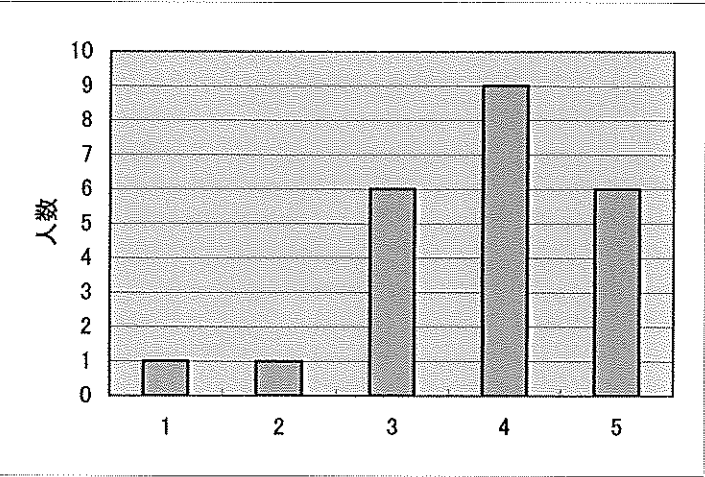


アンケート集計結果

2009年NGOのアカウンタビリティセミナー in 東京

実施日:2010年 3月 8日
参加者数:28名 アンケート回収数:23名

Q1. 本日のセミナー(全体)は分かりやすかったですか？

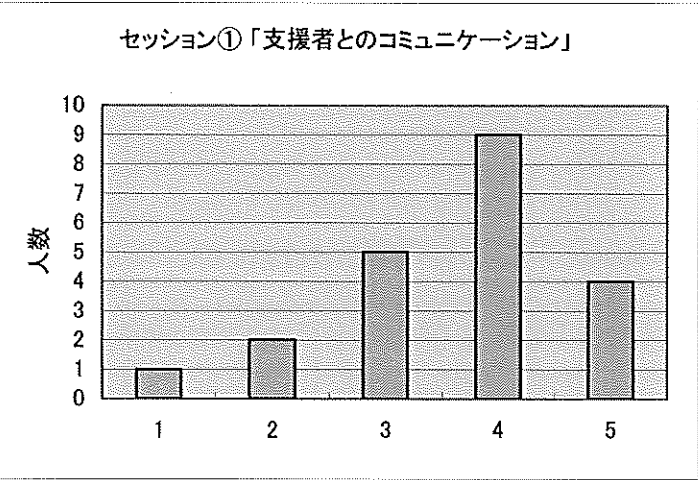


1	2	3	4	5
1	1	6	9	6

分かり難かった ←-----→ 分かり難かった

平均
3.8

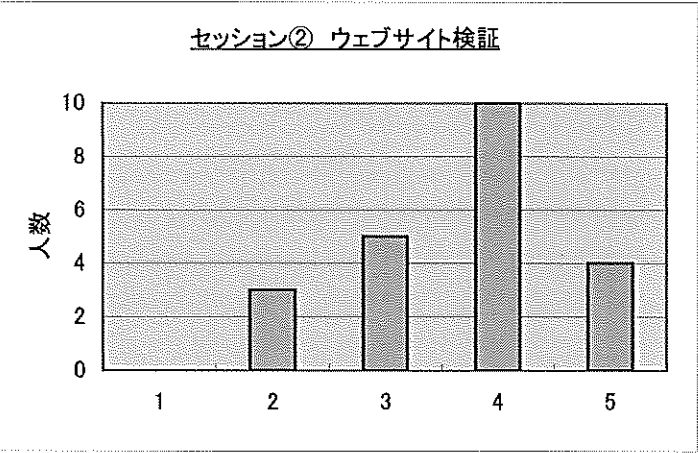
Q2.各セッションは、今後の活動に役立ちそうですか？



1	2	3	4	5
1	2	5	9	4

役立たない ←-----→ 役立つ

平均
3.6



1	2	3	4	5
0	3	5	10	4

役立たない ←-----→ 役立つ

平均
3.7

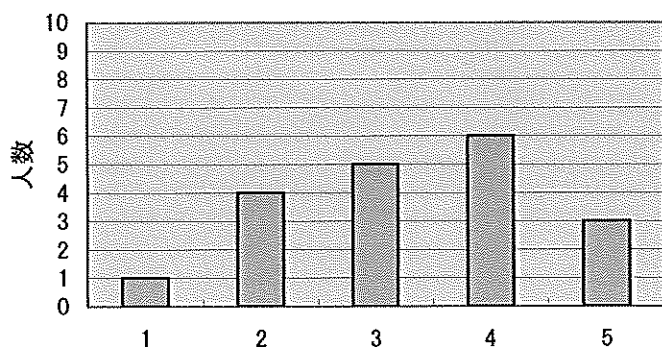
セッション①「支援者とのコミュニケーションとは」に対するコメント

- ・堀江さん、根本さん、と高見さんとのコントラストというか、取り組みや考え方の違い（良し悪しでもなく）を聞けて、団体内においても模索しやすいかった。考え方のサンプルが増えた。
- ・①と②については大変分かりやすかったです。計画シートの演習はアカウンタビリティとどう関連しているか分かりにくかったです。期待していたものと異ってしまいました。参加者として、ワークショップに貢献することができず、申し訳ありません。
- 「認定NPO＝アカウンタビリティがしっかりしている」とは必ずしも言えないという点も抑えておく必要がある。
- ・支援者とのコミュニケーションは地道にやるしかないと思いました。
- ・参加者に何をさせて（行動）、何を学んでほしいのか（目的）が明確にすべきと感じた。もう少し「支援者に対してアカウンタビリティ」に絞ってもらいたかった。
- ・今やらなくてはならない業務をただこなすだけでなく、その先に何があるのかしっかりと考えることが大切だと実感しました。
- ・アカウンタビリティを説明責任と訳してしまうと理解が難しくなるのかなという気がしました。「オープンにする」くらいのように思いました。
- ・団体の不足している部分がよく分かった。短時間でしたが良かったです。
- ・支援者とのコミュニケーションの具体例をもう少し紹介していただけたかった。
- ・経験会談は参考になった。

セッション②「ウェブサイト検証」に対するコメント

- ・ウェブの比較も面白かった。Q/Aで自分が長く疑問に思っていたことが解決されてよかった。
- ・ウェブサイトは3団体に加え、若い層に対して上手に訴えることができている団体HPや大手団体の例など多様な事例をしてもらったら「視点」（何を見るべきか）があればクリアになるのでは。
- ・多団体の支援者サービスの方法や対応をホームページや活動報告書では分からないことなど、色々聞けて勉強になりました。ありがとうございました。

セッション③ ガイド「計画シート」ワークショップ



1	2	3	4	5
1	4	5	6	3

役立たない ←-----→ 役立つ

平均
3.4

セッション③ ガイド「計画シート」を活用したワークショップに対するコメント

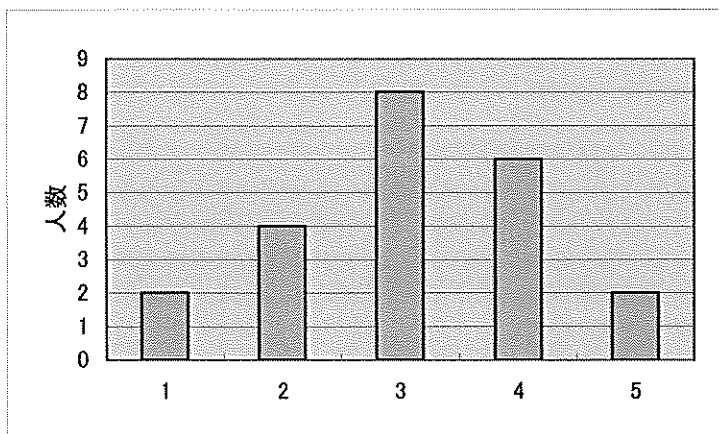
- ・ワークシートの行動のところを欄をこんな感じに【図】大きくして、ここが考えるところとすると分かりやすい（考えやすい）と思いました。
- ・③の説明が不十分だったと思う。各団体の説明をもっと短く、テキストの説明の時間をもっと取るべき。ウェブサイトの説明は不用、見れば分かる（注意点を明確してあれば良い）。各団体からの説明もアカウンタビリティシートを用いてすれば良かったのでは？

Q3.本日のセミナーは、どのようなことを期待して来られましたか？

回答

- ・アカウントビリティの内容を詳しく知りたかった。認定NPOの重要性。
- ・事例を含めて具体的施策のヒント。
- ・アカウントビリティを達成するにはどうすればいいのか。
- ・先般行われた、受益者へのアカウントビリティと対極にある支援者へのアカウントビリティという観点で、多方の時として求めるものが異なる場合、どのように対応したら良いかのヒントが得られるかと思った。
- ・ウェブサイト検証、リニューアル作業中なので、大変参考になりました。
- ・団体が今必要とされているアカウントビリティの確認。
- ・アカウントビリティの戦略。
- ・ウェブを通したコミュニケーション方法。
- ・支援者やその予備軍からの共感を得るアイデア。
- ・他団体のアカウントビリティに対する意識。
- ・アカウントビリティの成功事例の具体的な学び。
- ・ウェブサイト検証
- ・アカウントビリティチェックシートについて知りたかった。
- ・NGO・NPOにとってアカウントビリティとは何か？
- ・他団体の具体的事例を知ること。他団体との意見交換(ワークショップを通じて)。
- ・他団体の具体例
- ・NGO業界でのアカウントビリティへの方向性を学びたかった。
- ・他団体の支援者サービスの具体例など。
- ・自分の勤務先に欠けている部分を他団体の成功事例から学ぶ。

Q4.「3」で答えられた期待は達成できましたか？



1	2	3	4	5
2	4	8	6	2

達成できなかった ←-----→ 達成できた

平均
3.7

Q5.団体でアカウントビリティについて取り組む際、重要なことは何ですか？

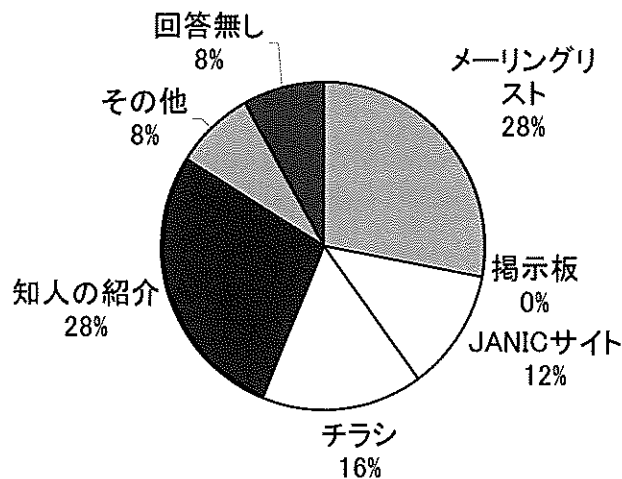
回答

- ・支援者へのアカウントビリティについてスタッフの協力、どうしたら理解しやすい情報を提供できるか等。
- ・セミナーに参加するにしても、本当に中身があるのかを精査して参加すること。
- ・アカウントビリティは作業量の負担だけでなく、メリットにもなるという意識を浸透させる。
- ・組織のミッションからふれること、立位置を常に不動のものとする。そこで基点として、誠意を尽くして説明しうそをつかないこと。
- ・団体スタッフ全員が何を必要されているか理解し、共通意識をもって対応すること。

- ・団体内の理解
- ・理事とスタッフの共通理解
- ・スタッフ全体での意識を続々する。
- ・アカウンタビリティ事務の理解。
- ・ステークホルダーの反応。
- ・スタッフはみんな当事者。忙しい中でも意識を持って少しずつ取り組むよう、意識化すること。
- ・情報共有をはかる(提示、報告会など)。
- ・団体内の理解。スタッフ全員が「必要だ」と意識すること。
- ・ウェブサイトのコンテンツ整理。
- ・説明、情報を受けとめる側(文芸省)の意識の向上を平行して行うことだと思います。
- ・正確さ。

Q.6シンポジウム案内の入手手段をお教えてください。

案内の入手手段



「NGO アカウンタビリティセミナー」in 名古屋 アンケート集計結果

1. 差し支えなければお名前と活動暦、参加動機をご記入下さい。また、参加の動機をお書き下さい。

NGO 活動暦：1 年／6 年／10 年／15 年／18 年／19 年／20 年

参加の動機・セミナーに期待していた事

- ・ 活動への賛同者を増やすノウハウをもらいにきました。
- ・ 自分たちの活動を効果的に伝える方法を知る。
- ・ 寄付や会費の集め方の習得。
- ・ 関わる NGO のニーズをとらえたセミナーだったから。
- ・ 団体としての人の集め方、寄付の集め方について。
- ・ DD の作り方、使い方、組織内への広げ方。
- ・ 支援者を広げる手法が取り入れられれば。
- ・ 一度バリオーサの中山さんのお話は聞いておくべきという勧めがあったので。また、アムネスティの成功事例も聞いてみたかった。

2. セミナーに期待していたことは達成できましたか？

達成できなかった

どちらともいえない

達成できた

い

1	2	3	4	5
0 人	0 人	3 人	5 人	2 人

理由・コメント

- ・ ちょっと帰ってからの頭の整理が必要かな？
- ・ 3 人の方の話、それぞれのポイントが明確でよくわかりました。
- ・ ダイレクトダイアログのことがよくわかって参考になりました。色々なノウハウを聞いて参考になりました。
- ・ 材料はたくさん頂いたが、自分で活用できるか不安です。
- ・ 十分に租借できたかは？ですが、刺激的な内容でじっくり振り返り、組織の活動に応用していきたいと思います。
- ・ 団体から一般の人へ関わっていく方法について、勉強になった。
- ・ ヒントがつかめた。
- ・ 取り入れる（実践）には、すぐには難しい。
- ・ お話の内容はわかりやすかったのですが、「これぞ打開策」と確信できそうなところには至らなかった。まだ納得いかないところあり。

3. 各セッションは、今後の NGO 活動の役に立ちそうでしょうか？

話題提供①：支援者を巻き込む伝え方とは？

あまり役立たない		どちらともいえない		とても役立つ
		い		
1	2	3	4	5
0 人	0 人	1 人	3 人	5 人

※未記入 1 名

理由・コメント

- ・ 経験、実績から話してもらっているので、とても参考になりました。
- ・ よく整理されていてよくわかりました。
- ・ 当団体の会員規模にあった団体の事例があればお聞きしたいと思いました。
- ・ DD のやり方をはじめて知りました。
- ・ 人をよく知ること。すべての人を潜在的なサポーターとして見ること。
- ・ ヒントがあった。
- ・ DD についてよくわかった。
- ・ すべての人が潜在的なサポーターという理解と、直接対話のためにどんどん外へ出て行く姿勢には、自分の欠けているところを見た思いです。

話題提供②：企業は NGO の何を見ているか？

あまり役立たない		どちらともいえない		とても役立つ
		い		
1	2	3	4	5
1 人	0 人	1 人	3 人	4 人

※ 未記入 1 名

理由・コメント

- ・ なかなか企業の人の話をこういう形で聞くことはないので貴重です。
- ・ よく整理されていてよくわかりました。
- ・ 企業の視点やスタンスがよくわかりました。
- ・ CSR の視点から NGO に対して関心を寄せること。団体がある企業に資金提供する際には、事前にもっとその企業のことを勉強しておくこと。

- ・ ヒントがあった。
- ・ 企業 CSR に関する幅広い情報が得られた。
- ・ ハートフル基金はじめ、使途を待っている資源があるという情報。

ワークショップ：あなたの団体は何を解決する？

あまり役立たない

どちらともいえない

とても役立つ

い

1	2	3	4	5
0 人	2 人	4 人	2 人	1 人

※未記入 1 名

理由・コメント

- ・ ちょっとこれは、自分の中に落とし込むには時間が足らなかった。でも、頭の整理には十分役立ちました。
- ・ 参加者によっては、今さらだったり、ちょっと無理だったりしたような。
- ・ 時間不足。あとの説明でよりよく理解できました。
- ・ 問題と解決策を明確にすることで他にも役立つ意見がもらえる。
- ・ ここをじっくりやってほしかった。
- ・ 実習で参加、まとめができた。
- ・ ちょっと時間が足りませんでした。

4. その他ご自由に感想をご記入ください。

- ・ 自分たちの活動が社会のどんな問題を解決するのか、じっくり考えてみる必要があると思った。
- ・ 自分が勉強不足で言葉（特に横文字）の意味がわからなかったことが残念でした。もっと勉強してからまたお聞きしたいです。
- ・ 政府のみならず、NGO マネジメントにも、企業マネジメントが組み込まれてきていることに、80 年代、NGO が企業や政府に公演に行ったり、WS をしたりした時代と隔世の感あります。NGO の流儀の再生も合わせてすすめていかなければ NGO の独自性は培われなと感じます。
- ・ 海外という言葉を安易に使っている。（海外に欧米？）
- ・ 話題提供の時間を短縮して、質疑・実習の時間を増やしてほしかった。

「NGO アカウンタビリティセミナー」 in 関西 アンケート結果

有効回答数：7名（参加者数 11名）

1. セミナーを知った媒体

Eメール 6名（関西 NGO 協議会 5名、JICA 兵庫 1名）
紹介 1名（大阪 YWCA）

2. セミナーに期待していた事

- ・ 計画的なアカウンタビリティ、アカウンタビリティのシステム化 2名
- ・ アカウンタビリティの基本、アカウンタビリティとは？ 2名
- ・ 他団体の取り組みを知る 1名
- ・ 無記入 1名

3. 期待していた事の達成度（6段階評価）

3点 1名
5点 1名
6点 4名
（平均 4.5点）

4. 多くの学び・情報が得られたか（6段階評価）

5点 2名
6点 5名 （平均 5.7点）

5. ものたりなかった点／改善すべき点

- ・ 参加者が実際に所属団体のアカウンタビリティ計画を作ってみる事ができれば、さらに理解が深まったと思う（そうすると丸一日セミナーになってしまいますが・・・）。
- ・ もう少し活発な議論があれば良かった。
- ・ 助成財団や企業に対するアカウンタビリティの事例がほしかった。

6. 今日の内容の中で、よかった点／満足した点

- ・ 他団体の事例／悩み／現状を知る事ができて参考になった。 4名
- ・ 長澤さんのお話が特に新鮮で大変参考になった。
- ・ 最低限必要な項目を確認する事ができて、とても良かった。
- ・ 講師の方々の論点整理がとてもクリアでわかりやすかった。
- ・ 今まで意識していなかった事に気づくきっかけとなった。